

2024_0307「3月の大雪（動画）」日々の理科 3500号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

浅間山の北麓に位置する北軽井沢は、水系では利根川水系（太平洋側）、気候区でも太平洋側の気候に属します。相当に強い「冬型の気圧配置」になっても、大雪になることはありません。北軽井沢が大雪になるのは、東京と同じように「南岸低気圧」に「寒気」が組み合わさった時です。

この冬の北軽井沢は、11月～12月はほぼ無雪、1月に入っても地面が見えていました。このままほとんど雪がないまま春になるかと思っていましたが、2月下旬から3月にかけて、たびたび大雪に見舞われました。いずれも南岸低気圧の通過に気温低下が加わった結果です。中でも3月5日午後から3月6日の明け方にかけては、予報通り今シーズンで一番の大雪になりました。遠隔観測の動画でも、特に夜間にズンズン積もっていく様子がわかります。

しかし、この積雪も数日で消えてしまうと思います。20年前の北軽井沢は、12月から3月まで雪が消えることはなかったので、少し淋しい気もします。

(2024年3月上旬／北軽井沢／東京から遠隔観測)

